

「令和4年度 新鮮いわて農業チャレンジ体験研修レポート（No.10）」

■ 研修時期・研修先

時期：令和4年9月28日～30日（3日間）

研修先：農事組合法人中沢農産（八幡平市）

■ 研修生について

将来、にんにくでの就農を考えているMさん。
栽培に必要な機械や、生産から販売までの工程
を学びたい！とお申込みいただきました。

■ 研修先の概要

八幡平市中沢地区の集落営農組織が、平成25
年4月に法人化。

翌年度から農地中間管理事業を活用して農地
を集積し、現在は100haを超える農地で水稲、
そば、麦、にんにく、加工用トマトを栽培。

加工用トマトでは、生分解性マルチフィルム
の使用や、専用機械の導入などにより、労働時
間を削減。

■ 研修の内容

にんにく生産に関するガイダンス、ほ場の見
学、にんにくの種球準備、機械を使ったにんに
くの植付け、市の担当者との面談

■ 研修の感想

・ にんにくの生産には、想像以上に設備投資
や人手が必要だという現実的な部分に気づく
ことができました。

また、機械があっても手間がかかることも
実感しました。

・ にんにく専業での新規就農は厳しいと痛感
しました。

・ 高橋代表理事や市の担当者の方から、就農
にあたっては、収益性のある作目から始めて、
余裕が出てきたら徐々ににんにくを導入する
こと、にんにく以外で自分に向いている作目
を見つけることなどをアドバイスいただきま
した。

■ 今後の目標等

近い将来の就農を目指し、にんにく以外にベ
ースとなる作目の選定や、今後の過ごし方（雇
用就農を挟むか、研修を受けるか）などについ
てじっくり考えていきます。

